株式会社三井三池製作所

お問い合わせは下記の本店並びに支店へ

本　　店	〒103-0022	東京都中央区日本橋室町2丁目1番1号	電話 03(3270)2009	FAX 03(3245)0203
大阪支店	〒531-0072	大阪市北区豊崎3丁目19番3号	電話 06(6676)8601	FAX 06(6676)8610
福岡支店	〒812-0025	福岡市博多区店屋町1番35号	電話 092(271)8871	FAX 092(271)0653

※支店はISO登録事業所外です。

ENG鉄　03J-4
2023・11・500 AG

MITSUI MIIKE

MGMT. SYS. RvA C 114　JAB MS CM006　NKKKQA ISO 9001

STAINLESS
ステンレスプール
POOL

株式会社三井三池製作所

生命の源である水との触れあい。
皆様に愛されるプール製作を行っています。

弊社では、長年にわたりプール施設の研究、開発、改善に努めてまいりました。
そこで培われた豊富な実績と技術は、低コストで耐久性に優れたプールを産み出しています。

屋外のスチール・ステンレスプールの製作はもちろん、オールシーズンご利用いただける屋内プールや老朽化したプールのリニューアル工事、さらに、ウォーターパークなど水に関するレジャー施設全般の企画や設計など、様々な業務を行っています。

三井三池製作所は、豊富な施工実績と併せて、今後もお客様やご利用される皆様のニーズに応える努力を休むことなく続けてまいります。

ステンレスプールの特長

割れない！

強度と延性に優れるステンレスプールは、様々な外力が加わっても変形にて対応、FRPのように漏水原因となるクラックが発生しません。

長寿命！

紫外線等に起因する素材の経年劣化による強度低下、表面の荒れ、クラックの発生がなく、美観上適宜塗装塗り替えで長寿命を実現できます。

リサイクル可能 環境に優しい！

ステンレスはリサイクル可能な環境に優しい素材。鉄材等と同様にステンレス材もスクラップ市場が形成され流通しています。

安全設計、強耐震性、清掃簡単、漏水心配無用

コストもリーズナブルな「三井のステンレスプール」是非ご用命下さい。

プール施設事例

学校用プール、公認プール

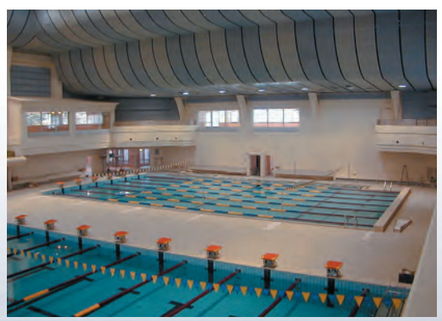
下関市小学校プール
（無塗装プール）

糸島市小学校プール
（塗装プール）

豊後大野市中学校プール
（無塗装プール）

宇都宮市中学校プール
（無塗装、屋上プール）

浜松市総合水泳場
（公認プール）



栃木県立屋内温水プール
（公認プール）

レジャー用プール、特殊プール

大牟田市レジャープール

鹿児島市レジャープール
（ジャグジープール）

久留米市流水プール

石井町温水プール

嘉麻市リハビリプール
（SUS+タイル）

訓練用プール
（水深5m）

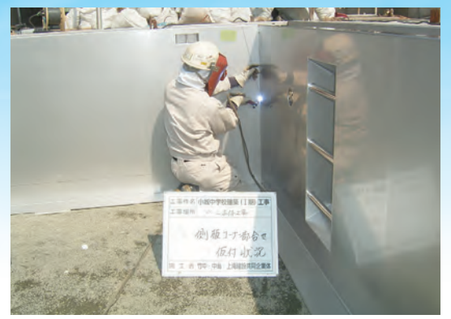
ステンレスプール現場組立工程

入念な工事と短期施工を同時に実現

長年の経験から培われた技術で、耐久性に優れたプールを低コストで提供します。

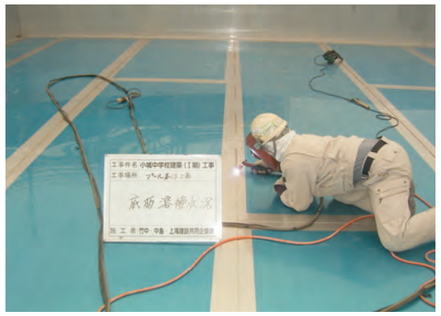
1 鋼材搬入

2 側板組立



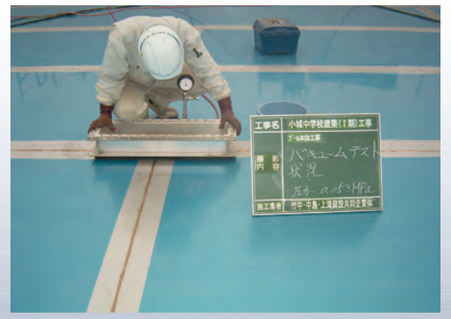
3 底板敷き込み

4 底板溶接



5 側板溶接検査

6 底板溶接（バキューム）検査

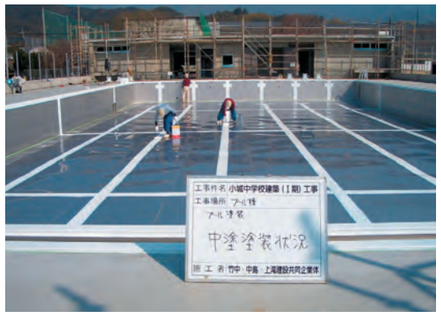


7 電解研磨

8 製缶検査

9 下地処理（脱脂）

10 塗装



11 塗装完了

12 完成

ステンレス内貼プール（リニューアル）

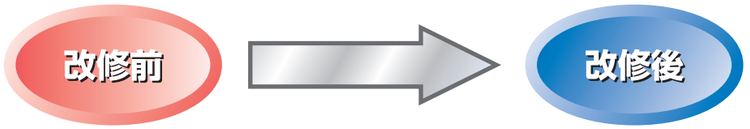
SUS素材の特性を活かして

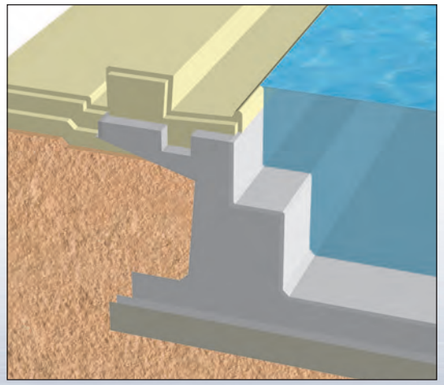
- 新設プールと同様の美観と耐久性を実現
- 総工費の縮減と工期の短縮を実現

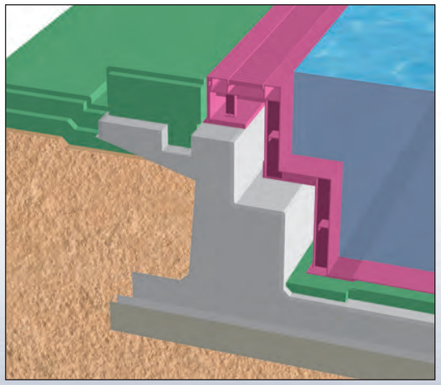
リニューアル工事事例　宮崎市中学校プール

（コンクリートプール）

（ステンレス内貼プール）







特長 ① 既存の躯体を最大限利用してコストセーブが可能
② 全溶接構造により、経年劣化等による漏水の心配がない
③ 他の改修方法に比べ、デザインの自由度が高い

老朽化プールリニューアル・デザイン変更事例

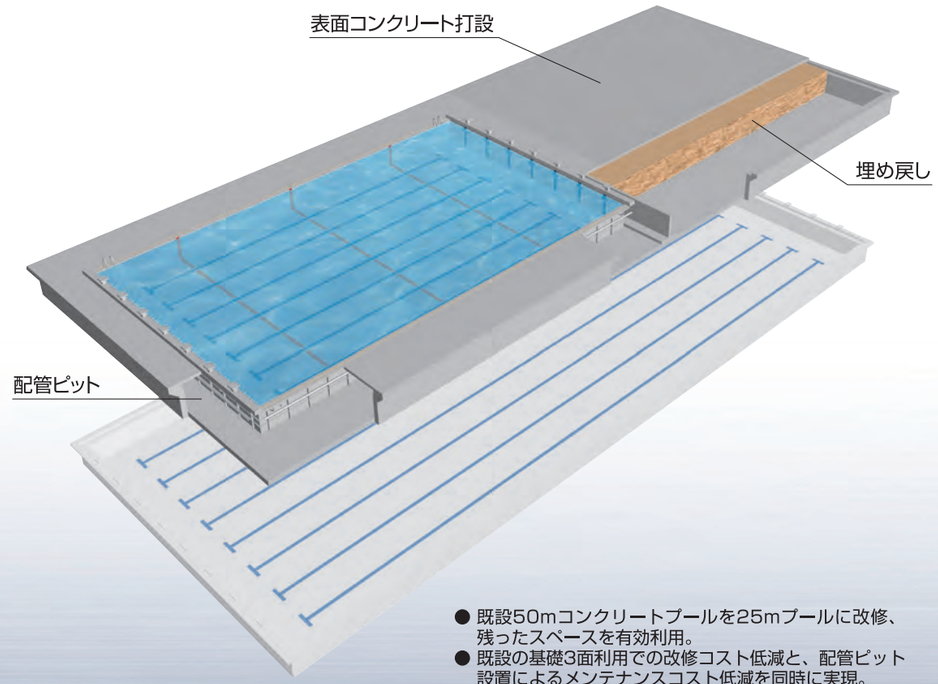
1. 既設25mプールを大小併設プールに

宮崎県小学校プール

（コンクリートプール）

低／高学年の水深に対応できるよう
大小プールの併設を改修工事で実現

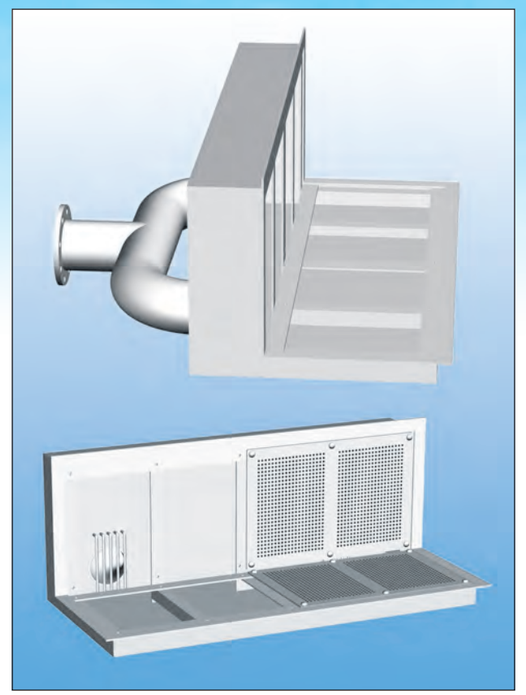
2. 既設50mプールを25mプールに



- 既設50mコンクリートプールを25mプールに改修、残ったスペースを有効利用。
- 既設の基礎3面利用での改修コスト低減と、配管ピット設置によるメンテナンスコスト低減を同時に実現。

安全で地震にも強いアイテム

1. 吸込事故を防止する安全な大型排水桝



排水桝の蓋は、蓋1枚に対し6本のビスで固定をしており、工具なしでは外せない構造となっています。

蓋穴は、流速が適正値となる様に沢山の穴（1080個）を加工し、流速（吸込力）を遅くしています。

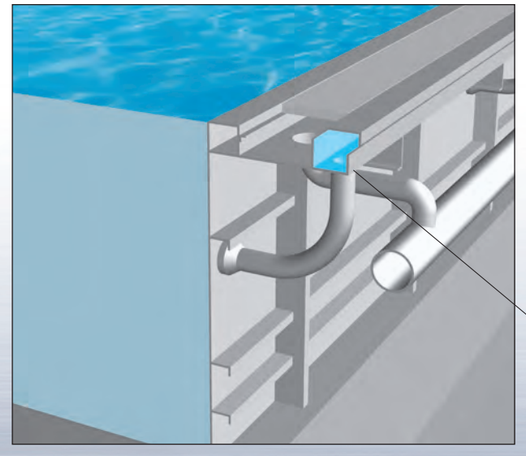
蓋穴の大きさは、指などが挟まらない様にφ8mmの小さな穴で製作し、更に安全な構造になっています。

排水口をダブルで設けています。万一、片方の排水口が足で塞がれた時でも、もう片方の排水口の吸込み力が大きくなり、遊泳者を吸込事故から守ります。

※文部科学省、国土交通省通知の「プールの安全標準指針」において、排（環）水口の構造に関して以下を規定しています。

規定１．排（環）吸水口の蓋等をネジ、ボルトなどで固定させること。
規定２．配管の取り付け口に吸込防止金具等を設置し、二重構造の安全対策を施すこと。

2. 耐震強化にも繋がる一体型「循環ダクト」（ろ過給水配管）



ステンレスプール側板に循環ダクト(ろ過給水配管）を内蔵することが可能です。

側板と一体型のダクトがプール水槽の耐震強度を一層高めます。

別個のろ過給水配管が不要となり、ピット内空間が広くなるため、メンテナンスも容易になります。

三井のプール可動床

プールの床面をワンタッチ操作で昇降させることで、プール水深を短時間で調整、給排水による水深調節のような時間と経費の無駄を省き、利用者の年齢層や目的にあわせて幅広い対応が実現できる便利な装置です。

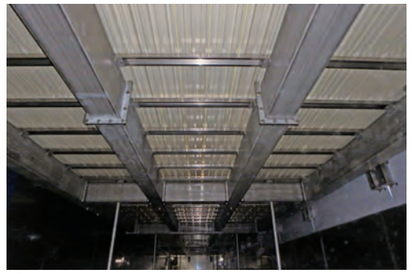
屋上プール（全面可動床）

屋内プール（部分可動床）

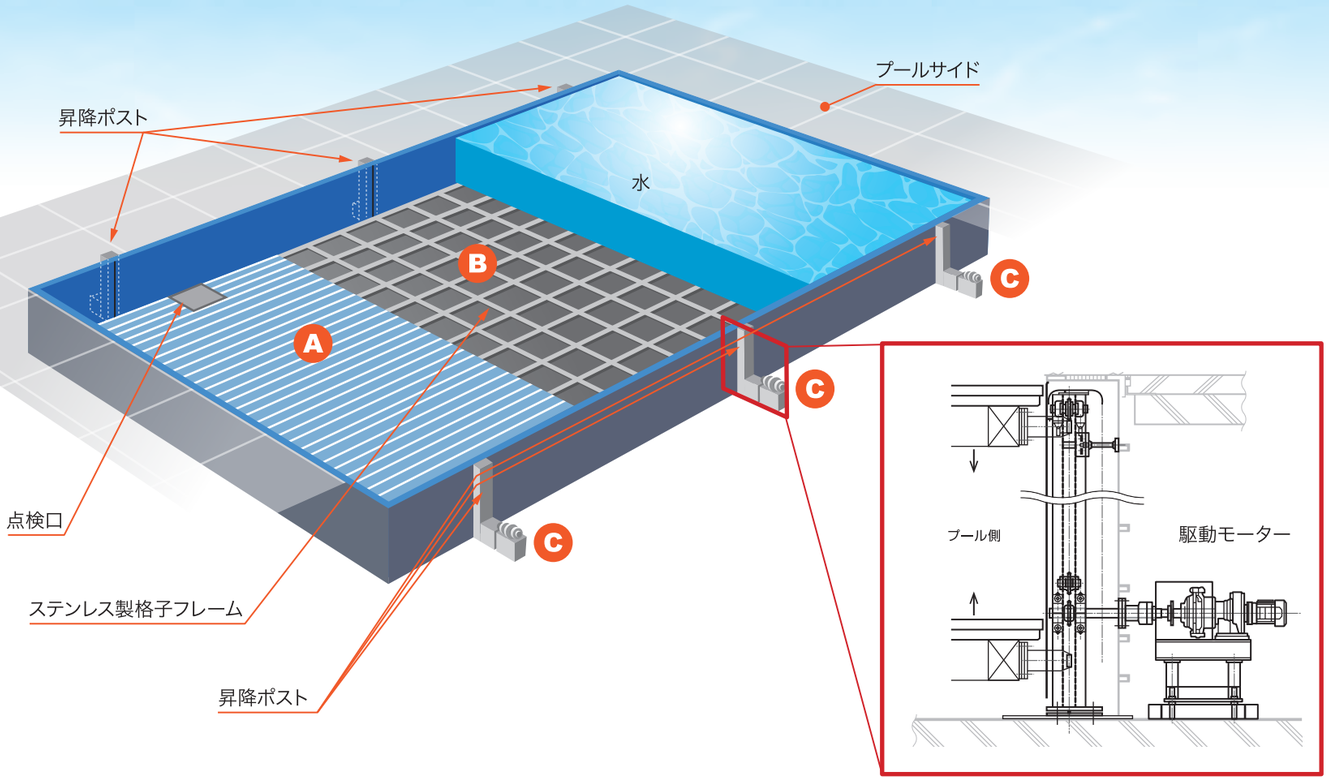
プール可動床装置イメージ

大きな「スノコ」状の床材（デッキ材）の隙間（3mm）が水をくぐり抜けるため、水量はそのままで床材だけが上下します。

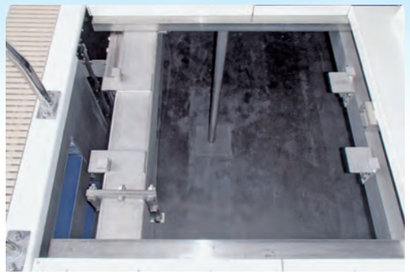
A デッキ材（床材）



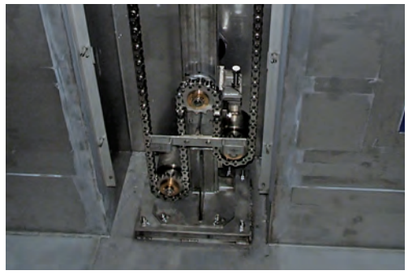
B 床フレーム材（SUS角パイプ）



（昇降ポスト断面イメージ）



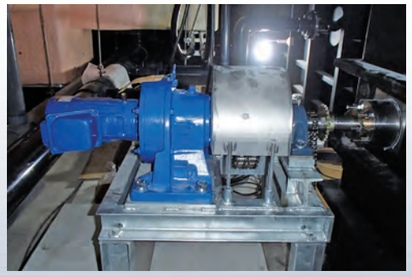
点検口



駆動装置（チェーンドライブ方式）

水深操作はタッチパネルで簡単にセットできます（制御室等）

水深をプール側に表示します



C 駆動モーター（シンプルな構造）

ピット側貫通部（グランドパッキンで完全止水）

ステンレス角パイプフロートフレーム式可動床の特長

「長寿命」

メインフレームでもある浮力用角パイプの両端を溶接で完全密封するため、パイプ内に浸水することによる浮力低下がなく、長期間水深を水平に保ちます。

「強耐震性」

ねじれに強くたわみが少ない丈夫な大型角パイプをメインフレームに使用しているため、耐震性能が高く、万一、大きな地震に遭遇しても装置の損傷を最小限におさえます。

その他オプション等

1. 二段オーバーフロー	水位を2段階に調整することで、多様な利用を可能にします。
2. 入 水 用 ス ロ ー プ	高齢者や車椅子での入水を勘案したスロープを設置して利用者の幅を広げます。

等々、ステンレスプールのことなら、お気軽にご相談下さい。

備 考「よくあるQ＆A」

Q1) ステンレスは錆びないの?	A1) ヘヤピンや鉄粉が付着することに起因する「もらい錆」が発生することがありますが、スチール製と異なり自然酸化、劣化による錆は発生しません。「もらい錆」が発生した場合でも、簡単な研磨処理で除去することができます。
Q2) 溶接部の凹凸等で、ケガの心配はないの?	A2) プレス曲げを多用し、溶接部もサンダーで丸みを付けた肌触りのよい仕上がりで、スリ傷の心配もなく安全です。
Q3) 万一の場合、現場補修できるの?	A3) ステンレスプールメーカーの簡単な溶接補修で、本来の性能を復帰させることが可能です。
Q4) 現場での溶接工事により工期が長くなるのでは?	A4) 現場工事は約2週間で、短い工期で施設が可能です。
Q5) ステンレス板底の歪みが生じないの?	A5) 気温変化等で生じることがありますが、満水時には平滑になり使用上の問題はありません。
Q6) 直射日光でのプール際温度上昇で、火傷の心配は?	A6) ノンスリップ塗装で転倒及び表面温度上昇を防止する対策を施しているので安全で快適な使い心地です。
Q7) 清掃はFRP製の方が容易では?	A7) 表面が滑らかなため簡単に清掃できます。FRPとの比較では、経年劣化の心配がないので汚れにくいという利点もあります。
Q8) 屋上プールには質量が軽いFRP製がベターでは?	A8) 乾燥時における缶体質量の比較では、FPRよりもステンレスが若干重くなりますが、缶体を支える建築基礎も合わせた質量は同一レベルです。経年劣化によるクラック発生がないステンレスプールの特性が高く評価され、多くの屋上プールで採用されています。